

# 金川町・田園町における 住民主体のコミュニティバスの運行



平成29年1月20日 地域バス活性化セミナー・地域公共交通フォーラム  
(金川町・田園町住民コミュニティバス運営協議会)

# 取組のポイント

① 毎月1会の運営協議会の開催

② みんなが当事者、  
様々な方々との連携

③ 持続可能な運行に向けた取組



# 毎月1回の運営協議会



## 毎月1回協議会を開催し、みんなで検討！

- 毎月の運行実績（利用者数や収支率）の確認と共有
- 運行実績に基づいた利用促進策の検討
- 利用者の声の確認

一体感、連帯感の醸成  
危機感もみんなで共有

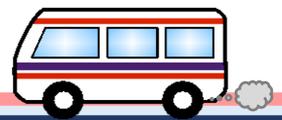
地域の交流を増やすようなバスの取組をしよう

○定例ランチ会事業の検討

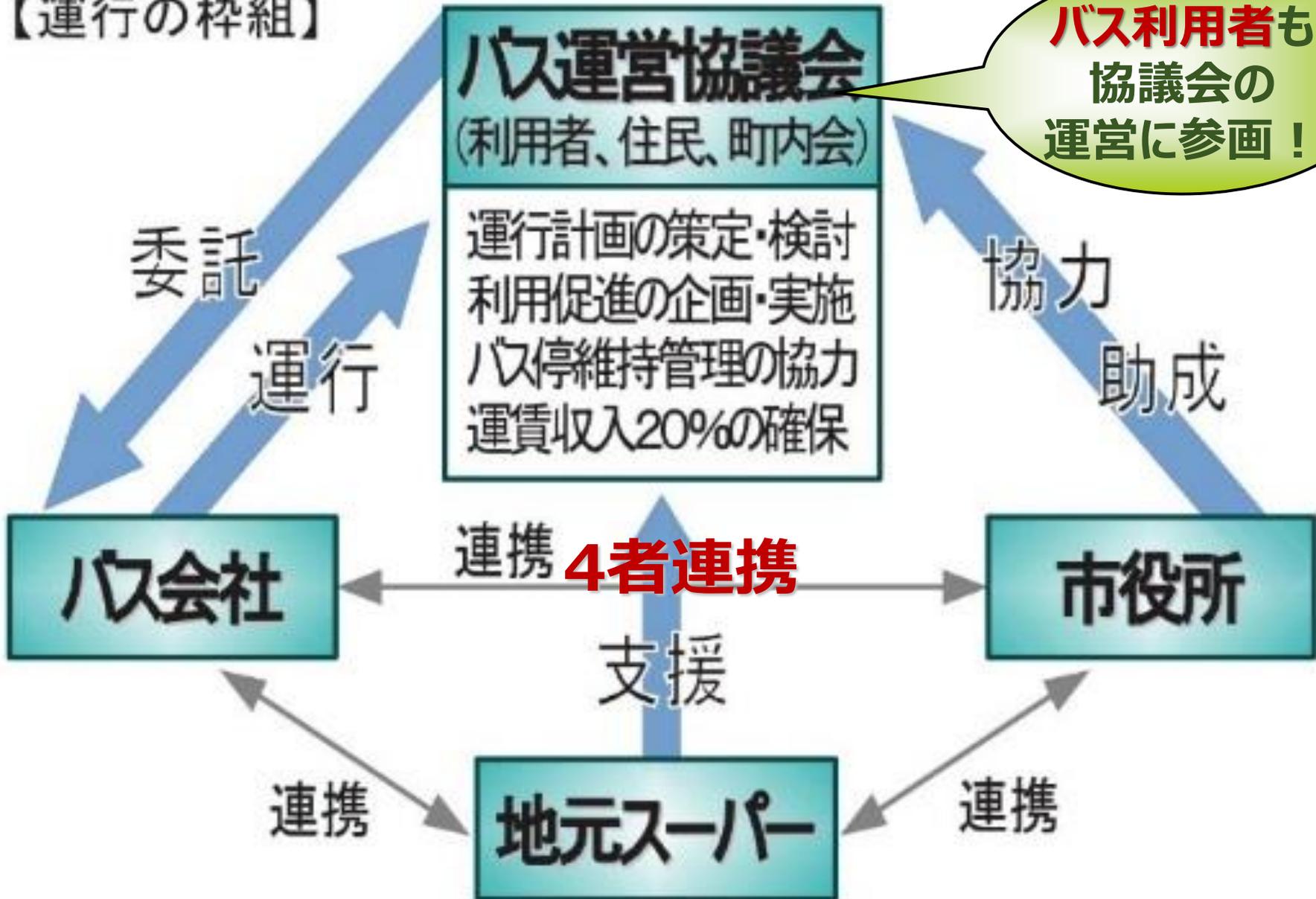
利用者の声を聞き、運行の改善を検討しよう

○バス停増設の検討  
○金曜日運行(増便)の検討

# みんなが当事者、様々な方々との連携①

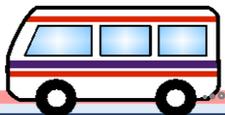


【運行の枠組】



バス利用者も  
協議会の  
運営に参画！

# みんなが当事者、様々な方々との連携②



全戸配布

金川町 田園町

さわやか号



H27.1.1号 住民コミュニティバス だより

## 「さわやか号」の運行に 多くの応援をいただいています！！

運行開始から2ヶ月が経過しようとしている「さわやか号」ですが、毎日約15人の方々にご利用いただいております。週4日、1日3便と小さい運行ながらも、バスを必要としている方々の「おでかけの足」として確実にご利用いただいております。「このバスを運行することができて良かった」と思うとともに、「末永くこのバスを継続していかなければならない」との使命感も改めて感じています。

このような中、先月より、「さわやか号」応援寄付金を募集いたしましたところ、多くの方々から寄付金と応援メッセージをいただきました。金川町・田園町の多くの方々が「さわやか号」を応援してくださり、本当に心強く感じます。今後とも、私たちのバス「さわやか号」を、みんなで乗って、支えて、育てていきましょう。(会長 菊地)

今はまだ利用する機会はありませんが、将来利用する日が来るまで、末永く運行できますように。頑張ってください！

活発で楽しい協議会運営で、バスと地域の両方を育てていって下さい。

10年後にはお世話になります。交通弱者の足を確保することは地域にとって必要です。市内全域に広がることを願っています。

### 応援メッセージ

※全てのメッセージを掲載できず申し訳ありません。その他、多くのメッセージを頂いています。  
※引き続きの応援をよろしくお願いいたします。

長〜く続けてください。やがては路線がふえたらいいですね。

車のない私にとって、とても助かります。

「さわやか号」の運営、運行に応援したいです。乗ってみてバス自体も良いですね。頑張ってください。

スタートの時だけ…とならないように、しっかりと運行の維持に頑張ってください！！

両町内会と隣町内が一体となり、この「さわやか号」を益々発展して、地域のかけがえのない足となり定着することを祈念します。

## 「さわやか号」応援寄付金活動

バスに乗らなくても寄付で応援してくれる方々、近隣の町内会様、リオン・ドール様など、地域ぐるみで継続して支援・連携いただいている。

金川町・田園町コミュニティバスをご利用の皆様へ



## リオン・ドールコジカカード 特典のご案内

金川町・田園町コミュニティバスを  
ご利用の皆様だけの特典!!

※リオン・ドール神明通り店限定



住民コミュニティバス会員券をお持ちの方  
1回のご精算1,000円(税抜)以上で  
**20**ポイント進呈!

※必ず「リオン・ドールコジカカード」と「住民コミュニティバス会員券」をご提示ください。

その2

リオン・ドールポイント券  
6枚で  
(2,000円相当)

住民コミュニティバス会員券を  
交換できます! (2,500円相当)

リオン・ドールポイント券3枚+現金1,500円でもOK



こちらの  
お店でも

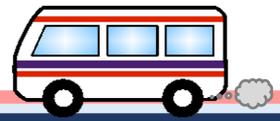
リオン・ドールコジカカードにポイントが貯まります!!

リオン・ドールコジカカード サービス提携店

(平成27年8月現在)

## リオン・ドールによるポイント支援





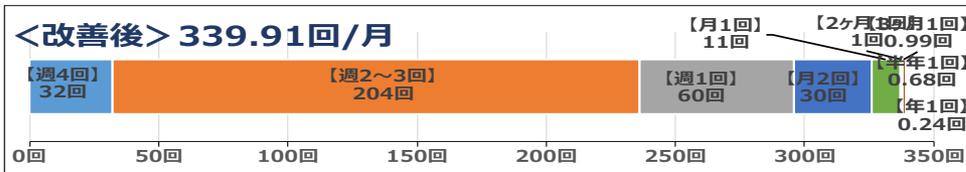
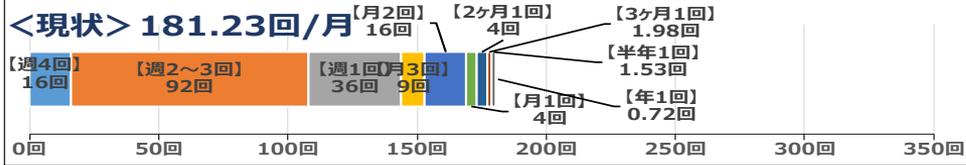
# 持続可能な運行に向けた取組②

運行改善・利便性向上の検討材料とするため、利用者等を対象にアンケート調査を実施

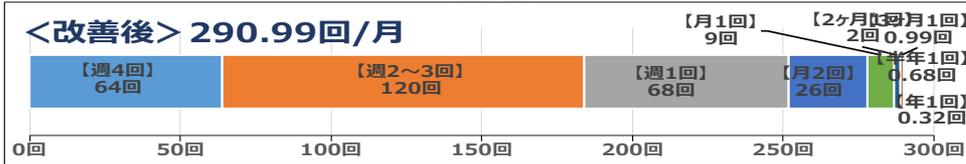
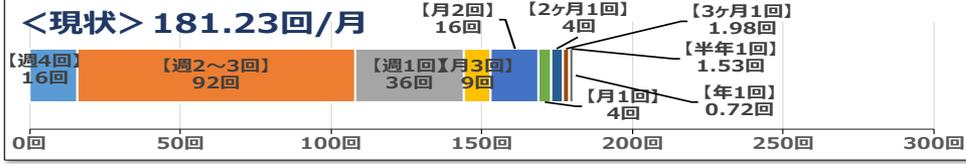
地域が実施するからこそ、信頼性の高いアンケートが実施できる

実質的な需要に基づいた運行方法を検討することが可能に

## ◆ 運賃200円とした場合の利用回数



## ◆ 金曜に運行した場合の利用回数



記名式でのアンケート

氏名		年齢	
住所		性別	1. 男性 2. 女性

「さわやか号」の利用状況についてお伺いします。  
 「さわやか号」は平成26年11月から運行をはじめています。この約1年4ヶ月の間の利用状況について教えてください。良くバスを利用される方は直近の利用状況を教えてください。

問1 利用した頻度を教えてください。(ひとつだけ○)

1. 週4回程度	2. 週3回程度	3. 週2回程度	4. 週1回程度
4. 月3回程度	5. 月2回程度	6. 月1回程度	
7. 2カ月に1回程度	8. 3カ月に1回程度	9. 半年に1回程度	
10. 1年間に1回程度	11. 一度も利用したことはない		
12. 運行当初は利用していたが今は全く利用しなくなった			

問2 主に利用した曜日を教えてください。(ひとつだけ○)

1. 月曜	2. 火曜	3. 水曜	4. 木曜	5. 曜日に関係なく利用していた
-------	-------	-------	-------	------------------

問3 主に利用した便(時間帯)を教えてください。

<町内発(行き)>ひとつだけ○

1. 9:40発の便	2. 11:00発の便
------------	-------------

<竹田病院発(帰り)>ひとつだけ○

1. 10:30発の便	2. 11:20発の便
-------------	-------------

問4 主に利用した目的を教えてください。(2つだけ○)

1. 通勤	2. 通学	3. 通院	4. 7. その他( )
6. 社交・娯楽・習い事			

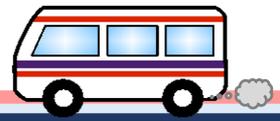
問5 利用した理由について教えてください。(ひとつだけ○)

1. タクシーよりも安いから	2. 送迎してもらえないから	3. 一人で自由に行動したいから	4. 7. 自転車よりも安全だから
5. 歩きよりも楽だから	6. 利用していない		

**<配布数>**  
 ・164枚

**<回収数>**  
 ・114枚

**<回収率>**  
 ・70%



# 持続可能な運行に向けた取組③

## 金曜日運行(増便)の実現(10月～)

- ・月～木 週4日の運行を、金曜日も運行し週5日の運行とすることで利便性を高める
- ・ただし、増便することにより費用も増えることから、1年数ヶ月の運行実績を分析するとともに、5月には利用対象者へのアンケート調査と分析を行い、**増便しても持続可能な運行かどうか協議会で議論し判断**

<1月運行分を基準とする>

費用					運賃		収支率
日数	回数	距離	キ。単価	利用者	(1日当)		
124,312円	15日	3回	8.8km	314円	55,638円	199人 (13.3人)	45%
<b>増</b>	<b>増</b>			そのまま	そのまま		<b>悪化</b>
費用					運賃		収支率
日数	回数	距離	キ。単価	利用者	(1日当)		
157,462円	19日	3回	8.8km	314円	55,638円	199人 (10.5人)	35%
<b>増</b>	<b>増</b>			<b>増</b>	<b>減</b>		<b>維持</b>
費用					運賃		収支率
日数	回数	距離	キ。単価	利用者	(1日当)		
157,462円	19日	3回	8.8km	314円	71,500円	252人 (13.3人)	45%

## さわやか号定例ランチ会(6月～)

- ・毎週第3木(金)曜日は誘いあって、「さわやか号」でおでかけして、神明通りでランチ♪
- ・「さわやか号」を利用した**ライフスタイルを体験**していただき、通常のバス利用につなげている。
- ・バスの利用促進だけでなく、**高齢者の交流の場**ともなっている。
- ・6月から計7回開催。のべ**92人の参加**

地域ならではの取組



10/21定例ランチ会の様子



# 持続可能な運行に向けた取組④

## バス停の増設

・道路が狭隘で、公道上のバス停の増設がなかなか難しい  
 ⇒運営協議会メンバー(バス利用者)に協力いただき、**民地**にバス停を増設

## 「金川町北」バス停



地域が主体となるからこそできる取組

## ロコミによる利用拡大

・金曜日運行を盛り込んだ新しいリーフレットを作成・全戸配布  
 ・メンバー各々が**ロコミ**で利用拡大に取組む

時刻表	運行日	月、火、水、木、金	祝日及び年末年始 (2/31~1/31迄未定)
バス停	第1便	第2便	第3便
金川町児童会館	9:35	11:00	12:40
金川町東	9:36	11:01	12:41
金川町北	9:36	11:01	12:41
大谷青果店北	9:38	11:03	12:43
田園町北	9:39	11:04	12:44
田園町町内会館前	9:40	11:05	12:45
ファミリーマート前	9:42	11:07	12:47
下大和町(ツタヤ)福栄会前	9:44	11:09	12:49
七日町角(二種眼科医院前)	9:45	11:10	12:50
七日町白木屋前	9:46	11:11	12:51
神明通り(ツタヤ(元長崎屋)前)	9:48	11:13	12:53
栄町中三丁目	9:49	11:14	12:54
桂林寺町	9:50	11:15	12:55
竹田病院前	9:52	11:17	12:57
竹田病院で待機	約30分	なし	約30分
竹田病院前	10:30	11:20	13:30
山鹿クリニック東	10:30	11:20	13:30
桂林寺町	10:32	11:22	13:32
栄町中三丁目	10:33	11:23	13:33
神明通り(リオン・ドール前)	10:34	11:24	13:34
七日町白木屋前	10:36	11:26	13:36
原の町	10:38	11:28	13:38
すがの屋前	10:40	11:30	13:40
ファミリーマート前	10:41	11:31	13:41
田園町町内会館前	10:43	11:33	13:43
田園町北	10:44	11:34	13:44
大谷青果店北	10:45	11:35	13:45
金川町北	10:45	11:35	13:45
金川町東	10:47	11:37	13:47
金川町児童会館	10:50	11:38	13:50

**運賃**

◆1回乗車  
大人300円/小人150円  
※小人:6歳~12歳(小学生まで)

◆普通回数券

券種	枚数	発売額
100円	11枚	1,000円

【ご案内】  
 ●回数券は金川町・田園町住民ユニティ(以下ユニティ)の一枚綴りで販売。  
 ●会津バス車内または窓口での販売

◆会員券 1ヶ月券 2,500円  
 ついてもおトクな「会員券」  
 1ヶ月乗り放題!!

【ご案内】  
 ●この券は「金川町・田園町住民ユニティ」バス専用で、開催日は事務局までです。  
 ●再発行・払い戻しはいたしません。  
 ●会員券  
 ●出張販売  
 毎月、第4木曜日(於:金川町児童会館)に事務局より発行し、開催日は事務局へ問合せ下さい。  
 ●ユニティバス車内での販売  
 バス乗務員へお申し出ください。  
 ●バス・神明通りバスサービスカウンターでの販売  
 【申込み・お問合せ】  
 会津総合福祉センター 管理課 TEL22-5560

【会員券の買い方】  
 ★開催日に居住するご家庭に限り、会員券を申請いただく方が利用できます。  
 ★お申し込みは「ユニティ」利用時に本券を請求頂ければ、運賃(210円)が半額(105円)でご利用いただけます。但し、降り・着払いの併用はできません。

### バスに頼る生活

- 竹田総合病院
- 竹田病院前
- 山鹿クリニック
- ファミリーマート

【問い合わせ】  
 ◆金川町・田園町住民ユニティバス運営協議会(二種車務局長)  
 TEL.090-2021-3523  
 ◆会津乗合自動車株式会社  
 TEL.22-5560  
 平成28年10月改正

- 【七日町角】バス停付近  
 【車】二種眼科医院(バス停すぐ)  
 【店舗】豊成印刷(約200m)  
 【車】松山山科医院(約230m)
  - 【七日町白木屋前】バス停付近  
 【内科】鈴木内科(約90m)  
 【車】前田眼科医院(約300m)
  - 【神明通り】バス停付近  
 【内科】吉田内科(約100m)  
 【内科】山鹿クリニック(約100m)
  - 【栄町中三丁目】バス停付近  
 【耳鼻】山鹿クリニック(約150m)
  - 【桂林寺】バス停付近  
 【車】右田眼科(約70m)  
 【内科】桂田病院(約90m)  
 【車】桑原歯科(約130m)
- もし、バスがない時は  
 あいつタクシー  
 TEL.0120-69-2468 (9:30~19:00)



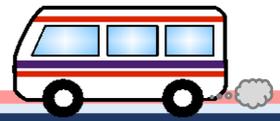
【その2】  
 24時間受付の心臓病センター  
 現金購入の割引が優待!  
 夜間・土曜・日・祭日でも  
 \*現金1000円代支給OK

レオラジー・テラス1F  
 -神明通りバス停からすぐ  
 【ツタヤ(TSUYAYA)】  
 -本、CD、DVD、パソコンが安い  
 【アットホームセンター】  
 -車、園芸、スポーツなど多品揃え

社会活動・読書に!!

会津若草堂  
 会津格古堂

-「神明通り」バス停から徒歩約6分  
 ※ツタヤ(元長崎屋)が隣接する  
 と、読書の「近道」です。  
 【中央公民館】  
 -団体の会合に便利、催物がいっぱい  
 【会津若草堂】  
 -読書にまつわる書籍やグッズも充実



# 持続可能な運行に向けた取組⑤



おでかけ交通博inやまがた(11/11)



福島自治研修センターの視察(9/29)

2014年(平成26年)11月21日(金曜日) (2)

## 論 説 若松の住民バス

会津若松市で町内会が運行組織をつくり、今月四日から「住民ミニコミュニティバス」を走らせている。地域住民が主体となるのは珍しい。「自分足は自分で守る」意識を持ち、実現にこぎ着けた。地方の公共交通の新しい在り方を示し、地域づくりにつながる取組みとして注目したい。

会津若松市で町内会が運行組織をつくり、今月四日から「住民ミニコミュニティバス」を走らせている。地域住民が主体となるのは珍しい。「自分足は自分で守る」意識を持ち、実現にこぎ着けた。地方の公共交通の新しい在り方を示し、地域づくりにつながる取組みとして注目したい。

地元負担を明確にしたのが特徴だ。必要経費のうち運営収入は20%以上を見込み、国と市が補助する。同社も一部を負担して協力する。運営収入が目標に達しない場合は協議会が補う。運営基盤を固めるため、同社は乗りの放題月額二千五百円の会員券を発行した。リオン・ドールコーポレーションは会員券を提示し、買い物物の利用ポイント増などのサービスを始めた。住民、行政、バス会社、商業施設が役割を分担する「協働」が運行の原動力となった。利用者は三便合わせて一日十五人ほど。協議会は「滑り出したのではまずまず」とみている。二十五人乗ると、必要経費金額を運営収入だけで賄える計算だ。

同町はR会津若松駅西側にあり、約千八世帯、約二千八百人が住む。路線バスがなかったことから、会津乗合自動車と市は平成十三、十四年に実験運行した。利用者数が少なく、定期路線は実現しなかった。だが、続行を望む声が強かったため、住民、市、同社は協議を重ねた。利用希望の調査を基に、三者の負担が過大にならない運行回数をはじめ出した。地元の熱意を反映させるために協議会方式を導入した。全国的には市町村が運営主体となる事例がほとんどだ。

協議会は通院、買い物以外の利用をアピールし、必要の掘り起こしに懸命だ。會津稽古堂の催し、會津図書館の案内などを町内回覧文に掲載する。口コミでも利用を呼び掛ける。利用者が増えれば便数増など使い勝手の良い運行ができる」と訴えている。

公共交通の在り方を住民参加で考え、実行する金川町・田園町の方式は自立的な地域づくりの模範といえる。市はモデル事例と位置付ける。公共交通の空白地域は他にもある。成果や課題を検証し、地域の実情に即した方式を模索してほしい。(鞍田 炎)

「地域主体」で継続を

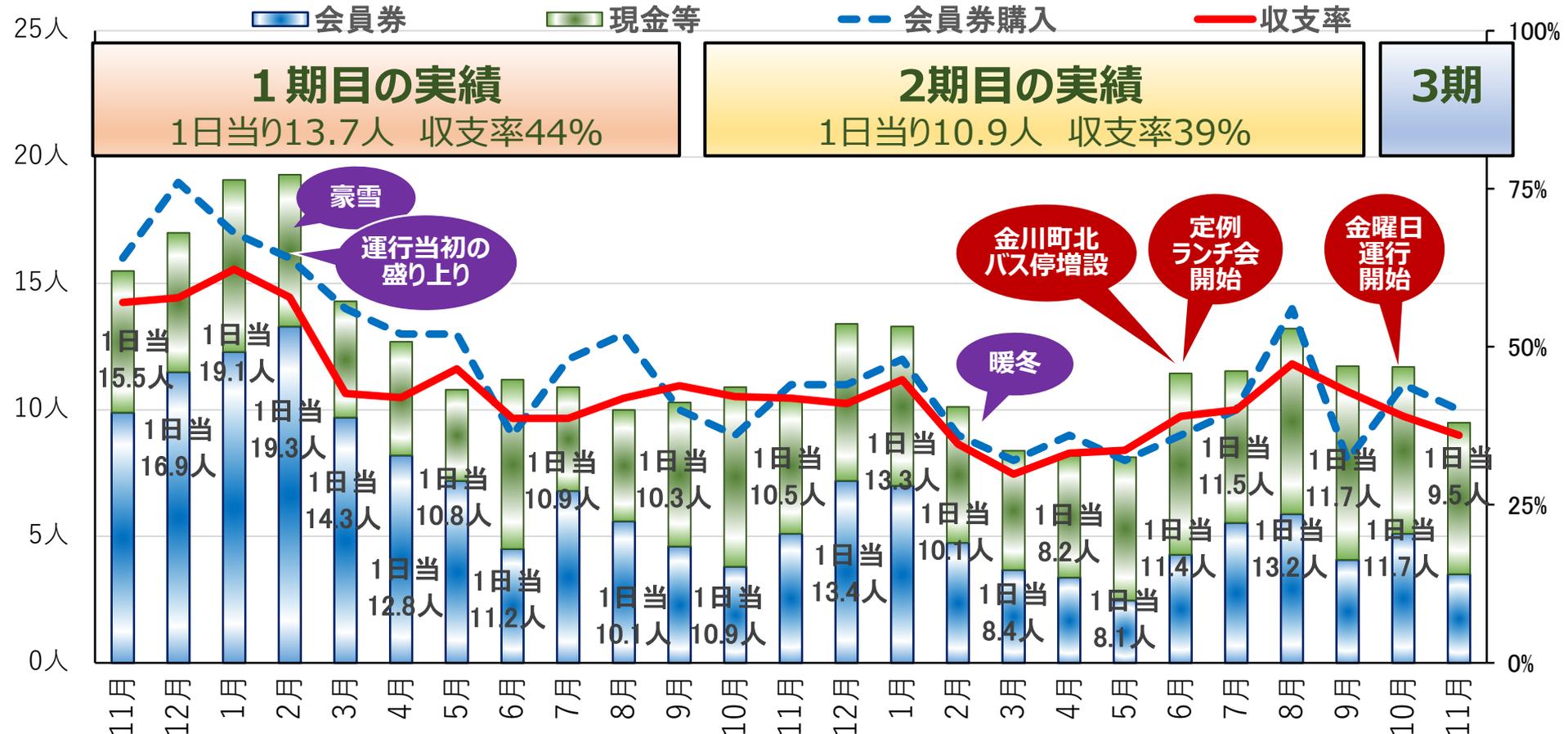
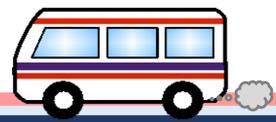
会津若松市で町内会が運行組織をつくり、今月四日から「住民ミニコミュニティバス」を走らせている。地域住民が主体となるのは珍しい。「自分足は自分で守る」意識を持ち、実現にこぎ着けた。地方の公共交通の新しい在り方を示し、地域づくりにつながる取組みとして注目したい。

会津若松市で町内会が運行組織をつくり、今月四日から「住民ミニコミュニティバス」を走らせている。地域住民が主体となるのは珍しい。「自分足は自分で守る」意識を持ち、実現にこぎ着けた。地方の公共交通の新しい在り方を示し、地域づくりにつながる取組みとして注目したい。

会津若松市で町内会が運行組織をつくり、今月四日から「住民ミニコミュニティバス」を走らせている。地域住民が主体となるのは珍しい。「自分足は自分で守る」意識を持ち、実現にこぎ着けた。地方の公共交通の新しい在り方を示し、地域づくりにつながる取組みとして注目したい。

事例発表や視察受け入れ、マスコミからの取材などの機会をいただくことで、自分達の取組を見つめ直すとともに、活動に刺激をいただいている

# 運行実績について

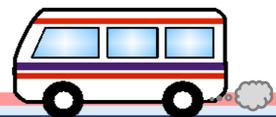


**1期目は、地域の盛り上りや豪雪により非常に順調な滑り出し。**

**2期目当初は、例年に無い暖冬などにより利用者は減少傾向だったが..**

**定例ランチ会などの取り組みにより、利用者は回復基調にある。**

**利用促進の取り組みが重要であることを、改めて認識。**



## 役員会の様子

毎月1回の役員会も、楽しく開催



## 運行2周年記念イベントの様子

町内の多くの人にも声をかけ、昼食を食べながら、楽しくイベントを開催

このバスの運行に対する責任・使命を感じながらも、地域みんなで楽しむことを忘れず取り組んでおります。  
“小さなバス”として始まりましたが、今後、さらに地域に必要とされる“大きなバス”となるよう、少しずつ育てていきたいと考えております。

